

関東甲信越建築士会ブロック会青年建築士協議会 IN 埼玉 活動レポート
体験ワークショップ クロスロードゲーム (CRG) 2019年6月21日
建築士は応急危険度判定等により被災地で活動することがあります。
～CRGで災害について考え、知見を深め、有事に備えよう！

(報告者: 白田克雄・中村俊光)

令和元年6月21日(金)午後より埼玉県秩父市のナチュラルファームシティ農園ホテルで、関東甲信越ブロック会青年建築士の皆様44名と埼玉大会2日目の第3分科会ワークショップの一環として、シミュレーションゲーム「防災クロスロードゲーム(CRG)」を実施しました。全参加者数は大凡300名が集まったそうです。

当日は【第1分科会Ⅱ:「発展的な未来の建築士会を考えよう」】、【第2分科会:「これからの建築材料」】、【第3分科会:「クロスロードゲーム(CRG)でワークショップ」】の各テーマで、それぞれ分かれ行われた。

今年3月に日本建築士会連合会青年委員会主催全国大会開催時、茨城県建築士会早川様より埼玉大会開催の2日目に行われるワークショップをして欲しいと依頼されたことで、実現しました。

今回は我々が2013年から建築士会のワークショップとして行ってきて、通算10回目となり、女性建築士の方も多く参加し、短い時間でしだけれど和やかな雰囲気の中、有意義に行われました。

埼玉大会はメインテーマが「**建築よく**」～**埼玉秩父に集う未来をつくる青年建築士**～というフレーズで行われ、日光東照宮の三猿(見ざる、聞かざる、言わざる)とは対照的に、秩父神社の三猿「お元気三猿」は「**よく見て、よく聞いて、よく話そう**」にあやかり、建築を「よく」見て「よく」考え、さらに「よく」なるようなスキルを身に付けることを目指すを、合言葉とともに大会を展開されたようです。



《日光東照宮の三猿》

「不見」「不聞」「不言」は8世紀頃中国から伝わった説?



《秩父神社の三猿》

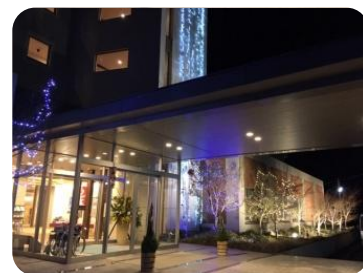
逆さ三猿とも言われている



《西武秩父駅前》



《ナチュラルファームシティ農園ホテルの外観》



夜の農園ホテル玄関前



《感性を磨き、なお一層スキルを上げ、建築世界を担い、翔ぶが如く!》

◆CRG体験ワークショップ開始



ワークショップ風景

《A組～F組まで6グループ 男性25名、女性19名》

◆CRGワークショップの構成 (タイムスケジュール)

時間の関係で設問数は8問でした。

14:45～14:50	趣旨説明
14:50～15:00	CRGの説明
15:00～16:15	CRG実施
16:20～16:25	講評

◆関東甲信越ブロック「CRG体験ワークショップ」～開会・閉会挨拶：早川 敏史氏～

《2019年3月3日時点の特徴は シャイなアンクショー》



・関東＝1都6県（茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県）と甲信越＝3県（山梨県、長野県、新潟県）

◆CRG体験ワークショップの概要・目的(白田リーダー)



「クロスロード」とは、「岐路」「わかれ道」、重要な決断、判断のしどころを意味します。
 災害対応は、ジレンマを伴う重大な決断の連続です。防災に関する取り組みにしばしば見られるジレンマ
 「こちらを立てればあちらが立たず」を素材として、参加者が、自分自身で二者選択の設問に「YES」または「NO」の判断を下すことを通して、【気づき】に特化したゲームです。
 防災を「他人事」ではなく「我が事」として考え、同時に相互に意見を交わすことを狙いとした集団ゲームです。 基本的に「クロスロードゲーム」に《正解》はありません。

◆CRGのルール説明及び実践(中村俊光講師)

・論議・指名者コメント・グループ発表・講評・講師の突込み

ワークショップは中村俊光コーディネーターの采配に従って進行しました。



芸能人？
 場を和まし、切り廻すことにかけては日本一の名人
 いつもお疲れ様



中村講師の軽妙な進行で始まり、ジョークを交えて設問YES/NOに対して意見を述べている。



まだ慣れない中、指名された人の見解に聞き入る参加者徐々に皆さんのエンジンがかかってきた。



カードを伏せて出し、一斉にオープン
Cグループ 飴玉…狙い！ えー嘘でしょう？

「ご褒美」のキャンディーで…意見交換や発表も和やかに
…果たしてMVP賞の行方は？
結果は茨城県の金子雅代さんの手に！ 残念 コメントを外した

★設問例:ゲームでは YES?・NO? 様々な意見が…

- * 設問⑤ あなたは…一般市民です。
- * 今日は日曜日。
- * 家族4人でリビングにいる。
- * 自宅は20年前に建てた戸建です。
- * 現在午前11時45分。
- * ガスコンロの上でお湯を沸かしている。
- * その時、震度6強の地震が発生した。
- * **質問：あなたはガスコンロの火をどうしますか？**
- * YES(すぐに火を消しに行く) / NO(何もしない)

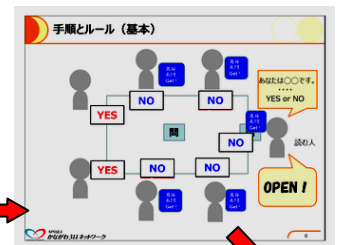


《YES》—————

- * 火事を心配して、まず止める。
- * 二次災害を防ぐ。
- * 点いているなら消す。

《NO》

- * 震度6強だと何もできない。
- * やけどが心配。
- * センサーで止まるので身の安全を優先する。



…… さて、講師からのコメントは？



- ・設問ひとつずつ丁寧に指名者コメント、グループ発表と講評に真摯に聞き入る参加者
- ・参加者全員が他人事とは思わない様子が垣間見えることが印象に残っています。

建築
よく



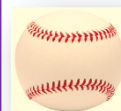
◆編集後記

◀中村講師の感想▶

まずは、今回ご縁があり埼玉にてワークショップを行った事、参加者の皆さんと楽しい空間を共有させて頂いた事に感謝申し上げます。

色々な防災ゲームを行っていつも思うのは、こちらからボールを投げると、すぐに返ってきます。参加者はもちろんですが、スタッフ（飴玉はもらえない）からもすぐに返ってきます。時には見学に来ている方に、ボールを投げてみた事もありますが、すぐに返ってきました。これは、同じ空間（会場）にいる全ての方々が、ゲームに参加していると言う事だと思います。この事は講師冥利に尽きます。私は、ゲームに入ると「いつ・誰に・どんな」ボールを投げようか、少ない脳みそをフル回転して進行しています。今回のワークショップに参加された方々からも、ボールはすぐに返って来ました。しかし、投げたかったボールは沢山あったのですが、時間の都合でしまい込んでしまったり、設問によって時間の配分は変えるのですが、バタバタと進行してしまいました。もっと話を聞きたかった方々やボールを投げたかった方々もいたのに。反省です。

最後になりますが、今回のワークショップ開催にご尽力頂きました皆様、当日のスタッフの皆様、お疲れ様でした。そして、ありがとう御座いました。貴会の繁栄を祈念しています。



◀白田リーダーのまとめ▶

2013年から始まり、今回で各地の建築士の皆様を対象としたワークショップのシミュレーションゲームは、節目の10回目を迎えました。

東京都で行われた際に窓口になった小野澤様、寺澤様、また東京建築士会事務局長の小川様、過去に伺った時の参加者である千葉県的女性建築士の鶴沢様、茨城県の女性お二人、今回の窓口である早川様からの挨拶を受け、懐かしく大変嬉しく思いました。

防災を柱にしたテーマで実施する主なシミュレーションゲームはDIG、HUG、CRGとありますが、とある地域住民を対象として開催した経験で感じたことは、地元の自主防災組織のベテラン幹部スタッフを長年努めているのに、三つの区別がまだつかない人も散見されています。

なので、防災も含め何事もいつも受け身で、他人事的に物事を捉えるのではなく、自身のスキルを上げるのには想定外も含め『気づき』『掘り下げて』『イメージ』を膨らませて、自ら前向きに考え、積極的に進めて行くのかにかかっています。

結びに、今回の窓口を務めた早川様を始め参加された皆様、勉強させて頂き、有難うございました。皆様のご健闘を陰ながら祈念しております。



★蛇足 パワーポイントから

昼からから目覚める 頭の体操

- ◆ クロスロードゲームとは違いますが、
- ◆ 始めに軽いクイズ問題です。
- ◆ 問題：
- ◆ **【関東甲信越で、面積が一番大きい都県は何処でしょう？】**
- ◆ 一般的には、関東=1都6県(茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県)と甲信越=3県(山梨県、長野県、新潟県)

『正解は？』

* 関東甲信越: 面積、人口ランキング

都県名	面積	人口
①長野県	13,560 km ²	⑦ 206万人
②新潟県	12,580 km ²	⑧ 224万人
③栃木県	6,408 km ²	⑨ 195万人
④群馬県	6,363 km ²	⑩ 194万人
⑤茨城県	6,096 km ²	⑥ 288万人
⑥千葉県	5,156 km ²	④ 626万人
⑦山梨県	4,465 km ²	③ 81万人
⑧埼玉県	3,797 km ²	⑤ 732万人
	秩父市 577.8 km ²	② 6,245人
⑨神奈川県	2,416 km ²	① 918万人
⑩東京都	2,416 km ²	① 1,388万人